

個体数はそう多くない。

脚の色彩によって亜種、型が分けられているが、ともに県下には産する。

食草も多く知られている。

1. 脚黒色……………*L. ater ater* (Mots.)

— 脚は僅かに黄色味を帯びた褐色、基節は黒色… 2

2. 跗節と腿節の先端は僅かに黒点あり……………

…………… subsp. *testaceipes* Pic

— 脚は僅かに黄味を帯びた褐色、転節、基節と腿節は黒色…………… f. *tibialis* Ohno

産地；神戸市烏原 (1ex., 17—V—1937), 丹生山 (1ex., 15—V—1955, 1ex., 19—V—1958), 谷上 (1ex., 7—V—1961), 氷上郡神楽村 [山本, 1958],

出石郡出石町 [1ex., 19—V—1963, 高橋, 1963], 赤穂郡三濃山 [1ex., 7—V—1964, 大野, 1967], 養父郡氷の山 (1ex., 25—VII—1959)

Tribe Colaspoideini

Genus *Chrysochus* Chevrolat

オオルリサルハムシ属

日本産は1種のみ。

72. *Chrysochus chinensis* Baly

オオルリサルハムシ

C—pl.165, f.22, p.330.

氷上郡で記録されているが筆者未採集。

産地；氷上郡黒井町 [VII—1950, 山本, 1953, 1958]

(11—V—1967)

## 兵庫県のコガネムシ・訂正並びに追加\*

高 橋 寿 郎

本誌前号 (V, 3/4, 1967) に発表させて頂いた“兵庫県のコガネムシ”中p.255, 42, *Aphodius* (*Aphodiellus*) *impunctatus* Waterhouse ツヤムネマグソコガネの産地に兵庫 [Waterhouse, 1875] と発表した。これによると原産地は兵庫となるが、これは筆者の不注意によるもので、原産地は九州島原である、それ故訂正させて頂く。本種が兵庫県下に産するか否かは筆者全く未採集なのでわからない。兵庫の記録は野村氏 (1938) のものがある。しかし、本種が本州に分布している種かどうか (野村氏は本州に分布と取扱っておられる, 1960, が中根博士は分布を九州とのみされている, 1963) 今の

ところ知らない。いずれにしても兵庫の記録はあるが、原記載によるものでないことをここに訂正しておく。この件に関し大阪の柴田太一氏よりご教示を得たことを記して感謝致したい。

次に筆者未採集で兵庫県産コガネムシに追加すべき種があることを野村全氏よりご教示頂いたのでここに追加種として記録しておきたい。

*Diastictus japonicus* (Harold)

ヤマトケシマグソコガネ

住吉川の堆積下で3月に採集 (詳しい採集年月日不明)。(11—V—1967)

\*兵庫県甲虫相資料, 28.